

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名：調布市子ども発達センター

公表：令和6年2月7日 回答数：15

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	4	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの療育室以外にホールや屋上も利用しています。 ・活動によって2グループに分けて部屋を分けて過ごしています。 ・活動を展開するために、部屋数が足りないと感じることもあるが、4クラスで話し合いをして使用する場所を決めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準内には達しているが、子どもの動きを考えると狭く感じることもあります。活動に応じて十分なスペースがとれるよう、屋外や地域の施設の利用など工夫をしていきます。 ・フリースペースや、少人数で使える部屋がもう少しあるとよいと感じるため、今あるスペースの利用の方法を工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・基準以上の職員を配置しています。 ・一人一人に手厚く対応できる人数が配置されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯によっては、足りないと感じる時があります。足りないと感じる午後の時間帯の過ごし方を、全クラス間で調整していきます。 ・一人一人に手厚くできる人数の配置があります。大人の手が多すぎても、声掛けや関わりが過度になってしまうので、必要な支援が行き届く適切な人数を配置していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・刺激が少ない環境づくりを心がけています。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、療育後に清掃・消毒を行っています。 ・収納が少なく、廊下にもものを置かなければいけない状況があるが、置き場所を決めたり、統一された収納かごを使って整理をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいところまでは、行き届いていない部分もあります。定期的に確認をしております。 ・トイレが個室ではないので、プライバシーの配慮が課題であります。環境設定を考えていきます。

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	14	1	・毎日、療育後に振り返りの時間を設けています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	・毎年保護者アンケートを実施して意見を聞いています。 ・父母会独自のアンケート結果の内容についても検討し業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	0	・年1回の自己評価を実施しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	0	・3年ごとに受審しています。次回は令和7年度です。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	0	・毎月研修日を設けたり、外部の研修にも参加しています。 ・市で行っている研修や、外部の研修に行ったり、日々の業務の上での内部研修を行っています。 ・年間で研修日を決めて行っています。 ・さまざまな種類の研修があります。 ・非常勤職員も参加しやすいよう業務時間内に研修を行っています。	・必要な研修に行けるよう、職員の体制を調整していきます。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	2	・複数のクラス職員でアセスメントシートを作成し、児童発達支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	3	・共通のアセスメントシートがあります。 ・遊びの発達段階チェックをしている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	3		・家庭支援、地域支援の項目については必要に応じて行っているが、計画に記載していないこともあります。それぞれのお子さんに対して、支援内容を検討していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15		・毎日支援後に振り返りを行っています。 ・クラスでフィードバックなどを通して内容を共有することで支援計画に沿った支援をしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1	・正規職員だけでなく、クラス職員全員で考える機会を作るように心がけています。	・療育後、バス添乗やその他業務で、時間がなかなか取れず、話し合えないこともあるので、話し合いの時間がとれるよう工夫していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	1	・子どもたちの遊びや発達の現状に合わせて考えるようにしています。 ・同じ流れ（スケジュール）の中でも内容を足し引きして考えています。 ・ST、心理士、OT、PTからのフィードバックも参考にしてプログラムを作っています。	・職員の体制によって同じ活動が増えてしまうことがあるので、提供したいプログラムによってクラスを越えて人員体制を全体調整し、固定化しないようにしていきます。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	15	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的や職員の動きについては伝えているが、正確に伝わっていないことがあるので伝え方の工夫してまいります。 ・朝はクラス職員が集まる時間が少なく、確認が不十分なことがあるため、朝の時間だけでなく、療育後のフィードバックやクラス会の中でも話を深めることで共通認識を持っていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	15	0	・毎日フィードバックを行っています。	・フィードバックの時間を取っているが、バス添乗などがあると共有しきれないことがあるので、その日のフィードバックの内容を記録して目を通せるようにするなどしていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しその必要性を判断しているか	14	1	・モニタリング、家族との面談の時期を年間で決めて実施しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	13	2	・ケース会議など必要に応じて担当者等が出席しています。	・サービス担当者会議という形ではなく、相談担当者からの情報の聞き取りに応じています。会議としての形を要望していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15	0		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	15	0	・市の保健師,障害福祉課の担当を交えて保護者と面接を行い,情報共有を行うなど連携しています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	15	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1	・就学支援シートを作成しています。 ・学校の先生への引継ぎをしています。 ・学校によっては先生の見学もあります。	・学校によってやり方が違うことがあるので,市の相談担当やコーディネーターと連携をとって,学校へのスムーズな引継ぎをしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	0	・事業所連絡会に参加しています。今年度は他事業所の見学を行いました。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	0	・交流保育を実施しています。 ・地域の子どもや園の先生たちに子どもの様子を知っていただく機会となっています。	

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	3		・自立支援協議会の子ども部会ができるといいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	1	・連絡帳や面談で子どもの状況を伝え、保護者からも話を聞いています。 ・必要に応じて、その日のうちに連絡して様子などを伝えていきます。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	3	・保護者向け勉強会(MT,PT,OTなどの専門職が講師)を行っています。 ・親子個別を月1実施しています。 ・親子参加の音楽療法があります。	・ペアトレのプログラムとしては行っていませんが、親子での療育参加や、行事参加などでも保護者支援をしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	・利用契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	・定期的な面談でお伝えし、了承を得ています。	
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	1	・連絡帳などで悩みや相談があった場合は、できるだけ早めにお答えし、不安にさせないように心掛けています。	・年に3回は定期面談を行っておりますが、その他にも必要に応じて面談や家庭訪問にて助言や支援ができるよう、ご家族のニーズをくみ取り対応していきます。

	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先輩保護者のお話を聞ける保護者同士の交流会を開催しました。 ・行事は親子で参加できる内容に変更しました。 ・父母会の活動内容や仕事の進め方などについて助言をしたり、保護者会や保護者が集まる機会を設けたりしています。 	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だより、給食だより、保健だよりを発行し、情報提供をしています。 	
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	15	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	12	3		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前は、行事に近隣の保育園児を招待していたので、再開の時期を検討します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を実施しています。 	

42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	・年間計画に沿って、毎月、様々なテーマで訓練を実施しています。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14	1	・入園前の聞き取りで確認しています。	・発作について判断が難しい場合もあります。日々の変化を保護者と情報共有していきます。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	0	・医師の指示に基づき対応しています。全職員で把握して対応にあたっています。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	・法人のリスクマネジメント委員会が、各法人の事例を一覧にして職員が見られるように回覧しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	・グループワークも取り入れた研修を実施しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	15	0	・マニュアルに沿って対応しています。	